



静岡文化芸術大学 学生による市長表敬訪問について — 『天竜くんまの昔ばなし』の報告と献本 —

静岡文化芸術大学「伝承文学ゼミ」は、2014 年から天竜区各地において民話の採録調査を実施してきました。採録した民話は「方言のまま」「語り口のまま」に翻字・記録。伝承地域の解説なども書き添え、毎年、書籍として刊行しています。

このたび 2024 年度の成果として『天竜くんまの昔ばなし』を刊行することになりました。編著者の学生 4 名が市長を表敬訪問し、調査の報告とあわせて同書籍を献本します。

記

1 日 時 令和 7 年 4 月 10 日（木） 9 時 45 分～10 時 00 分

2 会 場 浜松市役所 秘書課 応接室

3 訪問者 編著者

鈴木 実咲（すずき・みさき）	浜松市出身	文化政策学部 4 年生
滝澤 未来（たきざわ・みく）	愛知県出身	文化政策学部 4 年生
服部 奏（はっとり・かなで）	浜松市出身	文化政策学部 4 年生
廣瀨 波貴（ひろはま・なみき）	浜松市出身	文化政策学部 4 年生

監修者

二本松 康宏（にほんまつ・やすひろ） 静岡文化芸術大学教授

4 趣 旨

- (1) 静岡文化芸術大学「伝承文学ゼミ」では、2014 年度から北遠地域において民間口承文化財（民話）の採録調査を実施してきた。調査の成果は年度ごとに書籍として刊行され、日本昔話学会等においても高い評価を受けている。
- (2) 11 年目となる 2024 年度は天竜区熊（くま／くんま）地区で調査を実施した。
- (3) かつて秋葉街道とともに繁栄した熊ならではの特徴的な民話が伝承されていることが確認された。
- (4) 調査の成果として『天竜くんまの昔ばなし』を刊行した。



5 事業概要

- (1) 調査は 2023 年 6 月から 2024 年 1 月までに計 19 回
- (2) 107 名にお会いし、昔話 72 話、伝説 91 話、世間話 60 話、言い伝え 71 話、合計 294 話を採録
- (3) 採録された民話は学術的な位置付けや記録価値を検証し、「口承文化財」としての保存と継承を目的として「方言のまま」「語り口のまま」に翻字・記録
- (4) 地域の解説などを書き添えて、書籍として編集
- (5) 41 名の語り手による昔話 29 話、伝説 25 話、世間話 16 話、言い伝え 20 話、合計 90 話を掲載した『天竜くんまの昔ばなし』を 3 月 21 日に刊行

6 民話の調査の全国的な現状

- (1) 日本各地の山間地域では極端な高齢化と過疎化が進み、かつてのように民話を語り伝える人々は急激に減少している。
- (2) 1970 年代後半から 90 年代前半にかけては日本昔話学会の前身となった昔話研究懇話会や日本口承文芸学会を拠点とし、多くの大学のゼミや研究会によって本格的な民話の採録調査が全国各地で展開され、調査報告書の刊行が相次いだ。
- (3) 2000 年頃から、そうした調査がきわめて困難になったといわれる。
- (4) 現在、組織的な採録調査に取り組み、その成果を刊行しているのは、全国の大学のなかでも静岡文化芸術大学の「伝承文学ゼミ」だけである。学部の学生による編著として日本文学・民俗学の専門出版社から書籍を刊行しているという点も、日本昔話学会などからは大いに注目されている。

7 調査と書籍刊行の目的

- (1) 地域に伝えられた「伝説」、家庭の中で語り継がれてきた「昔話」、ごく身近なコミュニティのなかでまことしやかに語られた「世間話」などは、いずれも本来は「民間口承文化財」と呼ばれるべき価値を持つもの。それは地域と家庭に受け継がれた「心と記憶の文化遺産」である。
- (2) 近年の極端な高齢化と過疎化によって、そうした民話の伝承は風前の灯火ともいえる状況にある。それは伝承や伝統が途絶えるというだけではない。それを語り継いできた地域、家庭、コミュニティの断絶や消滅を意味する。
- (3) 人々が暮らしの中で語り継いできた民話に意味を持たせる。「自分たちが語り継いできた話に、実はこんな意味があったのか!?」「自分たちが暮らすこの土地に、そんな背景があったんだ!!」と。民話を記録することは、その土地に暮らす人々の生活の誇りを記録すること。

8 今回の出版物について

『天竜くんまの昔ばなし』

二本松康宏 監修

鈴木実咲・滝澤未来・服部奏・廣瀨波貴 編著

三弥井書店 発行

2025年3月21日 刊

A5版並製 181ページ 定価1,300円（税別）

昔話29話、伝説25話、世間話16話、言い伝え20話、合計90話を掲載



昔話

浦島太郎、花咲か爺、瘤取り爺、舌切り雀、十二支の由来、蕨の恩、牡丹餅は蛙、他

伝説

しっぺい太郎と柴のシッペノ、石打の長者淵、大地野の平家落人、新切の七人塚、大栗安の首切り地藏、他

世間話

熊平の庚申さま、狐に憑かれた話、松の木は大蛇、法字峠の怪、他

言い伝え

大地野の咳取岩、熊の魔淵、蛇を指差してはいけない、山の神の頭巾拾い、他

9 参考情報—民話の分類

昔話	時代と場所を特定しない。 「むかしむかし、あるところに」
伝説	時代や場所を特定する。 その土地では歴史的事実のように信じられていることもある。
世間話	自分自身や近親者、知人などの「体験談」や「噂」として語られる。 都市伝説や「学校の怪談」もこれに含まれる。
言い伝え	習慣や習俗、いわれなど。ストーリーを持たない。